原爆ドーム(広島)

ヒロシマ被爆

被爆体験や平和への思いを伝える

被爆体験 証言・伝承講話　**被爆体験記 朗読会**

講師を全国に無料で派遣します！

～被爆体験伝承者等派遣事業～

平和祈念像(長崎)/北村西望作

ナガサキ被爆

令和5年度派遣

【講師区分】

◆被爆者　ヒロシマ被爆　ナガサキ被爆

被爆者ご本人が自身の被爆体験を証言します。

※同一年度内に広島・長崎市内で聴講する団体、修学旅行の事前学習は対象外とし、聴講者数は概ね40名以上とします。
※広島からの被爆者の派遣は、12月から翌年3月までの間に限ります。
※長崎からの被爆者の派遣は、職員１名（費用は申込者負担）が随行します。

◆被爆体験伝承者（広島市が養成）　ヒロシマ被爆

◆家族・交流証言者（長崎市が養成）　ナガサキ被爆

◆原爆体験伝承者（東京都国立市が養成）※令和５年度から派遣開始　ヒロシマ被爆　ナガサキ被爆

被爆者から被爆体験を直接受け継いだ伝承者等が、プレゼンテーションソフトなどを用いて、被爆の体験や平和への思いをお話しします。

◆被爆体験記朗読ボランティア　ヒロシマ被爆　ナガサキ被爆

国立原爆死没者追悼平和祈念館が募った朗読ボランティアが、被爆者が自ら綴った体験記や詩などを朗読します。聴講者による朗読体験を行うこともできます。

■講話・朗読会の標準開催時間　ヒロシマ被爆 **60分** ／ ナガサキ被爆 **40分**

※ただし、◆原爆体験伝承者（東京都国立市が養成）の講話は35分

申し込み＆問い合わせ先

◆申込期限は、原則として派遣希望月の3か月前の月の月末まで
（ただし、派遣希望月が4月の場合は2月末まで）

（例）7/31 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30　※申込期限に間に合わない場合は、電話でご相談ください。

★お申込み方法は、「原爆死没者追悼平和祈念館」のホームページをご覧ください★

ヒロシマ被爆

●国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/
haken@hiro-tsuitokinenkan.go.jp
TEL 082-207-1202

ナガサキ被爆

●国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
https://www.peace-nagasaki.go.jp/
haken@peace-nagasaki.go.jp
TEL 095-814-0055

申し込みから開催までの流れ

～被爆体験伝承者等派遣事業～

① 申し込みの受付 令和５年２月１日～　申込期限：原則希望月の3か月前の月の月末まで
（例：7/31 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30）

② 派遣の可否の連絡　申込書受付後、概ね20日以内に連絡します。

③ 派遣者名等の派遣内容の連絡　開催日の１か月から２週間前までに連絡します。

④ 派遣者と電話等で打ち合わせ　派遣者と開催内容等の確認を行ってください。

⑤ 会場への派遣、開催　会場設営、必要機器等の準備を行ってください。

※申し込みに際しての注意事項

〇派遣対象　学校、自治体、その他の団体が主催し、平和に関して学ぶ目的で行う平和学習等とします。
ただし、政治・宗教・営利を目的とする集会等は除きます。

〇聴講者数　概ね20名以上（被爆者ご本人の講話は40名以上）が聴講する平和学習等に派遣します。
ただし、これを下回る場合においても状況に応じて派遣します。

〇実施回数　申し込みは１団体1回のみ（１年度内）、講話もしくは朗読会のいずれかのみとします。
なお、広島、長崎両方への申し込みはできません。

※必要機器等（プレゼンテーションソフトを使用できるパソコン、机、マイク及びマイクスタンド等）は申込者に準備していただきます。また、会場借上料などの必要経費は申込者の負担となります。

令和４年度に寄せられた感想から

◆被爆者による講話

〇熊本県熊本県立岱志高等学校定時制　（令和4年12月17日　長崎から派遣）

Power Pointや地図・被爆当時の写真も使っていただき、より切実に原爆の悲惨さを学ぶことができました。私たち教員がどんなに原爆のことを勉強して授業をしても、実際に経験された方のように言葉に重みを持たせることはできません。生徒たちが真剣に話を聞いていた姿が強く印象に残りました。どの生徒も平和のバトンをしっかりと受け取ってくれたと思います。

◆伝承者等による講話

〇被爆体験伝承講話（広島）【京都府京都市立養正小学校】令和4年6月22日

原爆被害の概要と被爆者の体験のお話は、写真・イラスト・地図などがあり、たいへん分かりやすかったです。お話をお聞きするにつれ、知識を身につけるとともに、戦争・原爆の恐ろしさが伝わってきました。被爆者ご本人から直接受け継いだ被爆体験は、とてもリアリティがあり、興味深く聴講しました。

〇家族・交流証言講話（長崎）【大阪府堺市立大仙西小学校】令和4年6月10日

原爆投下によってご家族を亡くされた方のお話をきいて、自分事として考える機会をいただきました。子どもたちやわれわれ教員の心に届くものでした。

◆被爆体験記の朗読会

〇和歌山県有田市立糸我小学校（令和4年7月15日　広島から派遣）

朗読を聴くことによって、原爆、戦争、命、さまざまな事を考えるきっかけとなりました。特に子どもの言葉で書かれた原爆詩は子どもたちにも分かりやすく、すっと受け入れることができたと思います。また、児童に朗読体験をさせるという取組も、とても素晴らしいと感じました。戦争を知らない世代が語り継ぐ大切さがよく伝わったと思います。